

三和支所管内より

大好きな日光浴とブラッシングで成長中

飼い主：楠瀬 誠さん
ペット：(前) カメ吉
(後) カメ次郎



3年前前、道にいた亀をご近所さんが見つかり、持ってきてくれたことがきっかけで楠瀬家にやってきたカメ吉。その1年後には、お母さんがカメ次郎を見つけ、連れて帰ってきました。

2匹は仲良くタライの中をのっそのっそと歩きまわり、カメ次郎がカメ吉の背中に乗って、じゃれ合う一面も見られるそうです。

甲羅にコケや藻が生えてしまうこともしばしば…そんな時は、誠さんに歯ブラシで優しく磨いてもらいすっきり。太陽の光と愛情をたくさん吸収して成長しています。

南国中央支所管内より

栽培への熱き想い

都築 哲朗さん (42)



香美市で直販向けの野菜を栽培している都築さんは、3年前に就農を決意し、ご両親と一緒に玉ねぎや枝豆、ブロッコリー、ネギなどの野菜を栽培しています。

1997年夏。高校球児の憧れの舞台、甲子園出場を果たした経歴の持ち主でもある都築さん。当時の思い出も笑顔で話してくれました。

今後は「品目を絞っての栽培や、人を雇うことについても前向きに検討していきたい」とこれからは見据え、白球を追いかけていた高校球児のように熱い想いを語ってくれました。

大川支所管内より

周りに愛されて元気いっぱい!

塩崎 鈴葉ちゃん (2)



自然いっぱい的大川ですべり台や砂遊びなど、外で遊ぶことが大好きな鈴葉ちゃん。家に遊びに来てくれたお友だちに抱き着くほど、お友だちのことが大好き!! 毎日、元気に保育園に通っています。

好きな食べ物は麺類。最近はテレビの影響で豆類も好きになりました。

たくさんの人に愛され、周りの人を大切にできる女の子に育ってほしい。とご両親は鈴葉ちゃんの成長を楽しみにしています。



直売所でお待ちしております

岡林 瑞子さん (75)

寒風山トンネルが開通した平成12年から国道194号線沿いに本川直売所を開き、その代表として活躍をしています。

お店は3月中旬から12月まで土日祝日朝8:30から夕方4:30まで営業しています。平日は山菜を採りに行ったり、仕込みをしたり、山野草を育て販売しています。

若い時は山に登ってもなんとも思わなかったが、今は体力の限界を感じ、いつまでできるかなと笑いながら話していました。

「本川に来た際は美味しい『ぎじめし』や『あめごめし』など、本川ならではの食材を準備してお待ちしております」とおっしゃっていました。

大川支所管内より



笑顔の絶えない四兄妹

小松 侑生くん (11)
莉音ちゃん (10)
央季くん (8)
楓和くん (1)

運動も遊びも習い事も大好きな四兄妹。長男の侑生くんは、ドッジボールが大好き。次男の央季くんと一緒に大篠子ども会に所属し、新キャプテンとなって頑張っています。長女の莉音ちゃんは塾で勉強するのが大好き。次男の央季くんは、ドッジボール以外に水泳や硬筆もやっています。三男の楓和くんは毎日、お兄ちゃんとお姉ちゃんの背中を追いかけて元気に遊んでいて、いつも一緒に遊んでくれるお兄ちゃんやお姉ちゃんが大好き。たまにはケンカもするけど、兄妹みんな仲良しです。

「小さい時から色々な経験をさせて、その中から好きな事を見つけていって欲しい」とお母さんは温かく見守っています!

大篠支所管内より



できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



イベントに参加した高校生達

1 れいほく地域 第12回土佐の食1グランプリ 第4位「Zロール」

3月20日、21日の2日間で開催された「第12回土佐の食1グランプリ」に、JA高知県れいほく地区と高知県立嶺北高校が合同で出店しました。エントリールームは、「コミベーカーリーと共同開発した「Zロール」。嶺北地域が生産量日本一を誇る「ぜんまい」のペーストがロールケーキの生地に練り込まれており、甘さ控えめの生クリームがポイントです。開発のきっかけは、れいほくぜんまい部会が同校へぜんまいの新たな食べ方の提案を依頼し、出前授業を行ったことでした。同部会は生産者数約200人で構成され、年間約5tの出荷があります。当時のぜんまい担当者は、「まさかぜんまいをスイーツに使うとは思わず、高校生の発想の柔軟さに驚いた。」と話しました。

イベント当日はあいにくの雨となったものの、高校生らの元気いっばいの呼び込みで多くの来場者に購入いただき、2日間で約600個のロールケーキを販売。25店舗中第4位と、大健闘した結果となりました。

2 南国市地域 手作りしょうゆ加工



麴の手入れの様子

南国市岡豊町笠ノ川の味噌共同加工講習所で、3月23日からしょうゆ加工を行いました。同講習所では、JA高知県女性部南国市地区部員の中から希望者が加工所利用会員となり、しょうゆ加工やみそ加工を毎年行っています。

しょうゆ加工では作業日ごと加工所利用会員が同講習所に集まり、国産大豆と小麦を使って麴を作ります。作業は大豆洗い、仕込み、手入れと続き、4日目まで麴が完成。出来上がった麴は、各自が持ち帰って塩水と合わせ、毎日手入れをしながら8カ月間熟成させます。30年以上続くこのしょうゆ加工は、手間もかかりますが、その分「やっぱり、おいしい！」とリピーターも多く、国産材料を使って自分達の手で作るため安心・安全できると好評です。今年は23口分を作る予定で、1口分でおよそ23升のしょうゆが出来上がります。

また、この講習所では11月12月には味噌づくりも行っており、利用者達からは「女性部員の仲間と一緒に作業するのが楽しい」と部員同士の交流の場にもなっています。

3 南国市地域

浅水代かき実践会



新型の代かきハローを確認する参加者

JA高知県南国市稲作部は3月25日、南国育苗センター近くの稲作部部長廣井智さんのほ場で「浅水代かき実践会」を開きました。水稲農家や行政担当者、JA職員など約30人が参加し、環境に配慮した米作りを学びました。

田植え前の代かき作業による濁水が、流出して河川から海に流れ込むことで起こる生態系や景観への悪影響はかねてから問題視されていました。同JAでは、田植え前の「浅水代かき」と「止水版使用の普及」を進めることで濁水流出対策をとっています。当日は、参加者同士の意見交換も積極的に行われました。

4 れいほく地域 れいほく園芸部が 作付け検討会を開催



検討会の様子

れいほく園芸部は3月、米ナス、シントウ、カラピーマン、土佐甘とう等各品目部会に分かれ作付け検討会を開催しました。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で、米ナス、シントウなど業務販売が中心の品目は価格が低迷し、れいほく園芸部としても販売目標を達成できず、厳しい年となりました。

令和3年度は各品目栽培面積を維持し、コロナ禍を乗り越えるよう意気込んでいます。会議では、作付け計画や防除スケジュール、定植前の準備や栽培初期の管理について確認しました。

5 れいほく地域 令和2年度JA高知県 女性部れいほく地区通常総会



総会開催時の様子

JA高知県女性部れいほく地区は3月23日、令和2年度通常総会をれいほく支所にて開催しました。

当日は女性部員48人が出席し、執行部提出原案について慎重審議され承認されました。また、総会終了後に第2回JA高知県れいほく地区家の光大会を開催し、昨年の家の光記事活用体験発表で家の光協会会長賞を受賞した福島安代さんが「れいほくはひとつ」というタイトルで発表し、参加者は熱心に耳を傾けました。また、SDGsについての講演や簡単マルチケースづくりに取り組み、有意義な時間を過ごしました。

6 南国市地域 南国市地区 女性部通常総会開催



通常総会の様子

JA高知県女性部南国市地区は士長地区本部3Fで、3月16日に第3回通常総会を開催しました。総会で新型コロナウイルス感染症拡大防止策を徹底し、出席者数にも制限をかけて行いました。JA女性部組織綱領・5原則を全員で唱和した後、総会は始まりました。総会では令和2年度の事業報告並びに収支決算書の承認、令和3年度の事業計画並びに収支予算書について報告があり、原案通り可決されました。また本年度は2年に一度の役員改選があり新しい役員が決定され、新地区部長には久礼田支部の坂本栄子さんとなりました。

えいのう〜

れいほく地域より

れいほく営農経済センター 営農販売課 担当：小笠原 0887-82-2803

天敵昆虫を利用して環境にやさしい農業に取り組んでみませんか？

☆天敵昆虫とは

野菜を栽培するにあたって悪影響を及ぼす害虫を退治してくれる“良い虫”の事です。天敵昆虫を上手に使うことができれば、労力の軽減や農薬の削減、環境への負荷を軽減した農業生産が可能となります。

☆天敵昆虫の種類

天敵昆虫には購入する「市販天敵」と自然界にいる「土着天敵」があります。嶺北地域で多く利用されている市販天敵の「スワルスキーカブリダニ」は、体長0.3mm程度の小さな虫です。ナス、ピーマン、シシトウの害虫であるホコリダニ類、コナジラミ類、アザミウマ類（1齢幼虫）を捕食します。放飼時期は5月中～下旬が目安となります。

土着天敵では“タバコカスミカメ”が代表的で、ナス・ピーマン・シシトウの害虫であるタバココナジラミ、アザミウマ類、ハダニ類を捕食します。毎年5月頃、嶺北管外のほ場の協力を得て、採取させてもらっていますので、興味のある方は「営農販売課（西峰）☎0887-82-2803」までご連絡ください。

☆土着天敵を定着させる方法

天敵昆虫は、エサとなる害虫や栄養源である花粉がなければ定着しません。一方、天敵昆虫の放飼時に害虫の数が多くなりすぎると手遅れです。そこで、天敵昆虫を導入する際には、害虫が存在しない状態で放飼する（0放飼）ことと、住処やエサとなる“バンカープランツ”をほ場に設置し、天敵昆虫の数を一定に保つよう心がけましょう。タバコカスミカメのバンカープランツには、ゴマやクレオメがあります。それらをほ場の空いているスペースに植えることで、天敵昆虫のエサとなる害虫がいなくなっても、天敵昆虫はバンカープランツへ移り、次の出勤に備えることができます。

☆農薬を使用する際の注意点

病気や害虫の防除に使用する化学農薬は、天敵昆虫にも大きく影響します。化学農薬を使用する際は、天敵昆虫に影響のないものであるか、下記のHPなどを参考に必ず確認しましょう。また、天敵昆虫利用の基本は観察です。病害虫の発生と天敵昆虫の定着状況を日々観察しましょう。

参考：こうち農業ネット→環境保全型農業→IPM(総合的病害虫防除・雑草管理)→各種農薬の天敵類に対する影響表



画像引用元：こうち農業ネットHPより



バンカープランツ：クレオメ バンカープランツ：ゴマ

れいほく地域

GAP 掲示板 vol.14

「補植用の苗の取り扱いについて」

悪い例



【放置された苗】
病害虫の発生源になります。補植用以外は片付けましょう。補植用に残す場合は、育苗箱から苗を取り出し、小分けして置くと苗が長持ちします。

良い例



補植用の苗は小分けにして植付けることで、苗に病害が発生することを防ぎます。

南国市地域より

南国営農経済センター 営農指導課 0881-86312415

梅雨時期のオクラ栽培管理



南国営農経済センター 営農指導課 内田 史保

○生理障害（イボ果）

イボ果の主な原因は、生長のアンバランスが原因と言われ、日照不足・低温・多湿・窒素過剰・窒素不足等により誘発されます。適度な摘葉などにより風通しや日当たりを良くし、樹勢を適正に保ちます。

○病害虫防除

梅雨時期は病害虫が発生しやすいので降雨の前に薬剤の散布を行うなど早めの防除を心がけましょう。圃場の周りに風除けを兼ねてにソルゴーを植栽する事もアブラムシ等の害虫被害軽減に有効です。

・主な病害虫

アブラムシ、ハスモンヨトウ、オオタバコガ、葉枯細菌病、果実黒斑病

○追肥

梅雨期には肥料の流亡を考慮して、草勢をやや強めに維持出来るように、生育を見ながら7〜10日おきに、窒素成分で2〜3kg/10aを目安に施用します。

○側枝の管理

生育が進むにつれて側枝の発生が多くなるので早めに除去しましょう。側枝が繁茂すると、株の風通しが悪くなって病害虫の発生源となるばかりでなく、作業も煩雑になります。また、養分の分

施設栽培 終了後の処理



南国営農経済センター 営農指導課 小松 寛明

散によって果実の品質も低下しがちとなります。○灌水 ほ場条件にもよりますが、梅雨が明けた7〜8月の高温乾燥期には、4〜5日おきに通路灌水を行い、肥料の吸収を促し、草勢の維持、果実の品質低下を防ぐようにしましょう。

・害虫野外への飛び出し防止を徹底
近年、施設野菜類において、アザミウマ類やコナジラミ類の発生が多くなっています。アザミウマ類やコナジラミ類は、キユウリ黄化えそ病や退緑黄化病、トマト黄化葉巻病などのウイルス病を媒介しますが、効果の高い農薬が少なく防除が困難です。これらの害虫は、施設栽培終了後、野外に飛び出し露地作物や雑草において増殖し、次作の発生源となります。施設栽培終了後の防除対策
・施設内に残ったアザミウマ類やコナジラミ類の確実な死滅と、ウイルス病罹病株を確実に枯死させるために、以下の手順を参考に十分な期間を確保し、施設の密閉処理（蒸し込み）を必ず行いましょう。

【蒸し込みの手順】

- ①施設内の雑草は除去しましょう。
- ②植物は誘引したまま株元から切りましょう。
- ※倒して圃場内に積むと内部の温度が上がりきれず枯れ

- ③施設を密閉し、蒸し込みを行います。
- ※施設内の設備が傷まないように対策を行います。
- ※晴天が続いた場合は5日程度、曇雨天が続いた場合は7日以上密閉を行います。
- ④植物が完全に枯れたのを確認し、残さず持ち出しましょう。
- ※手で茎がバキッと折れる状態を必ず確認しましょう。他の病害が残りに付いて伝染源となる可能性もあるため、残さは可能な限り持ち出し処分しましょう。
- ⑤防虫ネット・天井ビニール等を外しましょう。
- ・地域ぐるみの防除活動

アザミウマ類やコナジラミ類は、施設野菜類のみでなく、花き類など多くの作物に寄生するため、地域全体で一体となって飛び出し防止等の対策を行うようにしましょう。



栽培講習会

家庭菜園向け初心者対象の講習会として開催しております。直販等に出荷されない方もお気軽にご参加ください。

日時内容

- 令和3年6月16日（水）13時30分〜15時20分
- 甘藷 13時30分〜14時
- さといも 14時10分〜14時40分
- 土壌について 14時50分〜15時20分

場所

J A高知県南国営農経済センター2階 (南国市上野田303-1)

講師

J A営農指導課職員

※参加ご希望の方は6月15日（火）までに、J A高知県南国営農経済センター営農指導課 (0881-86312415) まで連絡をお願いします。



皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

文旦も小夏も大好きです。高知県に生まれて良かったです。
(岡豊支所・62歳)

▼文旦も小夏もどちらもおいしいですよ。甘みと酸味のバランスが程よくて私も大好きです!!

孫たちがみんな県外にいて、コロナ禍の中、お互い行き来ができない状態が続いています。みんなが集まって「道の駅 キラメッセ室戸」など、東部への観光をしたいです。
(長岡支所・64歳)

▼お孫さんに会えないのは寂しいですね…。コロナが終息したらみなさんで東部観光を楽しんでください。

桜も咲き始めました。心うきうきする季節ではありますが昨年同様イベントは中止の方向ですのでおそらく、人手の少ない所へのお花見となるでしょう。主人と2人でゆっくり出来るといいな…と思っています。
(久礼田支所・67歳)

▼あちらこちらで桜の花が咲きほこり、お花見シーズンの到来ですね。満開の桜の木の下でゆったりとした時間を過ごしてください。

毎月こうぐりの料理を楽しみにしています。今月は小夏ゼリーを作ってみました。春の野菜を植えたいと思いましたが、準備ができましたので早く苗を植えたいです。
(大杉支所・70歳)

▼読者のみなさんの「楽しみにしています」の一言に励まされています。これからも様々な料理を掲載していきますので、ぜひ参考にしてください。

「道の駅キラメッセ室戸」にまた行きたいと思えます。クジラがパッと目にはいつてワクワクしました!
(十市支所・71歳)

▼地元の農産物や加工品などが充実していてとても魅力的ですよね！大きなクジラの迫力には圧倒されます。

「作ってみんかえし食べてみんかえし」ラインで関東の友人に送っています。もちろん、食材も送っています。「しょうがごはん」大好評でした
(大田口支所・72歳)

▼レシピをご活用いただいているように嬉しです。気になるページをお友達と共有していただいている方がとうございます。

南国

組合員課より 直販所「かざぐるま市」 新規加入者募集

南国市直販所「かざぐるま市」は、10月中旬頃から農産物と加工品（惣菜や菓子など）を出荷できる方を募集します。各支所に申込書を置いてありますので、希望者はお近くの支所までお申し込みください。

なお、お申し込みがあった方には後日加入説明会と生産履歴記帳講習会の日程をお知らせします。
※説明会、講習会に参加できない方は加入できません。

資格 JA高知県女性部南国市地区女性部員

募集品 野菜、花卉、加工品、手芸品

募集期間 7月～8月末まで

お問い合わせ先

南国営農経済センター組合員課 担当：楠瀬・千葉
(TEL：088-863-2416)



南国

令和3年度米麦水分計点検

米麦水分計（ケット製ライスター）の点検を行います。希望される方は、水分計1台ごとに①支所名、②住所、③氏名を書いた名札をつけて、購買課又は最寄りの支所、営農渉外担当職員までお持ちください。県外メーカーのため、期日後のお申し込みはお受けできません。

申込期日 令和3年5月28日（金） **対象** ケット製水分計

点検料 未定
(決定次第ご連絡します。なお、修理・部品交換は別途必要)

お問い合わせ先 南国営農経済センター購買課
(TEL：088-863-2413)

JA高知県れいほく柚子商品 郷のゆず ぽん酢しょうゆ

ゆずの風味と和風だしが優しく香るポン酢です。たたき、水炊き、冷奴、餃子などに好相性。焼いたお肉をあっさりいただくのにもオススメです！

内容量 360ml

取扱店 とさのさと

お問い合わせ先

高知県農業協同組合
れいほく柚子加工場
(TEL：0887-73-0080)

